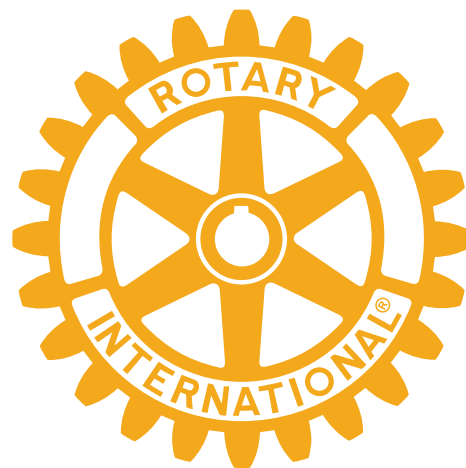


パスポートクラブのガイド



地域社会や職業人のニーズが変わりゆく中で、ロータリークラブも進化しつづけています。新クラブや既存クラブの中には、革新的な「パスポートクラブ」のモデルを導入し、柔軟で多様な経験を会員に提供しているクラブもあります。

パスポートクラブとは

パスポートクラブとは、以下の方法で会員に柔軟な経験を提供しているロータリークラブです。

- 定期的にほかのクラブの例会や活動に参加することを会員に奨励
- 出席方針を緩和
- さまざまな方法で例会を実施

新クラブも既存クラブも、パスポートクラブのモデルを導入するかどうかを検討し、上記のすべて、または一部を採用することができます。クラブ名に「パスポートクラブ」を入れる必要はありませんが、適宜、クラブ細則を修正する必要があります（下記「パスポートクラブの細則」を参照のこと）。

パスポートクラブもロータリークラブです。このため、会長、理事会、委員会が設けられ、会長エレクトをはじめとする次期役員は、PETSや地区研修・協議会などの研修に出席します。また、会員は、地区や国際レベルの行事に出席するなど、自分の関心にあった方法で積極的に参加することが奨励されています。

「パスポート」という言葉は、ほかのクラブの例会や活動など、クラブ間を自由に行き来できることに由来します。ロータリアンなら誰でも、旅行・出張中にほかのクラブの例会でメイクアップができますが、パスポートクラブの場合、新しいアイデアを学ぶためにほかのクラブの例会に定期的に参加することが会員に奨励されます。

パスポートクラブの仕組み

それぞれのパスポートクラブが独自に運営方法を決めることができます。よく見られる方法には、以下のようなものがあります。

- 例会の頻度を減らす
- 奉仕や交流活動に焦点を置いた例会を認める
- 会費を低めに設定する
- 出席率よりも積極的な参加によってクラブの健全さを評価する

例会の形式：親睦会、奉仕活動、オンライン会議、募金活動など、さまざまな形で顔を合わせ、例会とすることができます。クラブが何らかの活動を月に2回行っている限り、RIの方針を順守していることとなります。全会員が出席していなくても、全会員と訪問者が出席できる会合、行事、活動であれば、例会として認められます。

パスポートクラブも含め、すべてのロータリークラブは、少なくとも月に2回、何らかの形で例会を行う必要があります（奉仕活動、交流活動、オンライン会議など）。

参加を測る尺度: パスポートクラブでは、ほかのクラブの例会や活動への参加が奨励されているため、出席率以外の尺度でクラブの健全さを測ることになります。例えば、年に一定時間数の奉仕を義務づけているパスポートクラブもあります。この奉仕には、自クラブと他クラブの例会への出席に加え、他クラブの募金活動やプロジェクトへの参加、ロータリー以外での奉仕活動への参加などが含まれます。

パスポートクラブの会費: パスポートクラブはロータリークラブであるため、会員はクラブと地区の会費のほかに、RIの会費を納入します。クラブと地区の会費は各クラブ・地区によって異なりますが、RI会費（人頭分担金）は全世界の正会員について一律の金額です。パスポートクラブの会費は、クラブの裁量で妥当な金額を設定できますが、その内訳（クラブ会費、地区会費、RI会費など）を明確に示し、全会員が会費について理解できるようにすることが大切です。

他クラブ訪問の手続き: 従来のメイクアップと同様、他クラブを訪問する前に先方のクラブに連絡し、訪問の手配を行うべきです。また、パスポートクラブでも、来訪する他クラブ会員への対応方法を検討しておくべきです。

パスポートクラブの会員は、ほかのクラブへの訪問を通じて多くの会員と知り合い、多様なクラブの経験を味わうことができます。この訪問は、欠席のメイクアップや出席率を満たすことを目的とするものではありません。

パスポートクラブの利点

パスポートクラブには以下のような利点があります。

- **柔軟なスケジュール:** 多忙な会員も自分に合ったスケジュールでロータリーに参加できます。
- **参加を重視:** 卓話と食事といった従来型の例会ではなく、奉仕と親睦を例会の中心に据えています。会員は、他クラブへの訪問を通じて、さまざまな運営方法や活動について学び、自分のクラブに新しいアイデアを持ち帰ります。
- **幅広い人にアピール:** 従来型クラブへの入会に関心のない人や、退会を考えている人にとって、パスポートクラブは魅力的なオプションとなる可能性があります。
- **人脈を広げる機会:** 会員は、地区内外で関係を築くことができます。
- **奉仕活動の充実:** 他クラブとのつながりを築くことで、奉仕活動での協力の可能性が広がり、より大きなインパクトを生み出すことができます。
- **コストの節約:** 食事がないたため、会費を抑えることができます。

パスポートクラブに限らず、どのクラブも上記のような柔軟性を取り入れることができますが、パスポートクラブの特徴は、柔軟性を大幅に盛り込んで運営される点です。このような柔軟性に魅力を感じる会員もいれば、従来の方法によるクラブ運営に魅力を感じる会員もいます。

パスポートクラブの細則

既存のクラブがパスポートクラブのモデルを導入しようと考えている場合、前述のような柔軟性の利点について全員で話し合い、変更に対する会員の合意を得た上で、既存のクラブ細則にこれらの変更を反映させる必要があります。

新たにパスポートクラブを結成する場合、推奨ロータリークラブ細則のごく一部を修正するだけです。補遺「パスポートクラブの細則（見本）」をご参照ください。細則の修正方法について質問がある場合は、[クラブ・地区支援担当室](#)にご連絡ください。

パスポートクラブの細則（見本）

下記は細則の見本です。自由に修正してお使いください。

この資料の編集可能なファイルは[Rotary.org/ja/flexibility](https://rotary.org/ja/flexibility)からダウンロード可能です。

1. **資格要件。**自らの専門知識を生かし、奉仕したいと望む成人、もしくはRI定款第5条に記された要件を満たす成人は、____ロータリークラブの会員となる資格を有する。
2. **会員選挙の方法。**入会候補者は、まず理事会の承認を得た上で、その名前が週報に掲載される。__日以内に会員から異議がない場合、この入会候補者は入会へと招かれる。移転してくるロータリアンは、入会へと自動的に招かれる。ただし、好ましくない理由により以前のクラブから退会させられた場合を除く。
3. **会合。**オンラインの理事会会合が毎月開催され、会員は誰でも出席できる。顔を合わせた会合が四半期に一度開催され、親睦行事が毎月予定される。
4. **出席。**会員は、都合がつく時に____ロータリークラブの例会と行事に出席する。また会員は、他クラブの例会と行事にも参加できる。ただし、この訪問の手配を行うため事前に先方のクラブのリーダーに連絡した場合に限る。会員は、顔を合わせて行われる本クラブの例会に、少なくとも____に一度、出席することが義務づけられている。
5. **奉仕。**____ロータリークラブの会員は、____ごとに少なくとも____時間の奉仕を行うことが求められている。
6. **RI登録。**____ロータリークラブの正会員は、クラブ会費、地区会費、RI会費を支払い、正会員としてRIデータベースに登録される。
7. **会費。**____ロータリークラブの会費は、年に____円である（____時点）。
8. **委員会。**クラブの各委員会が、クラブの年次目標と長期目標に向けた取り組みの調整にあたる。会長は全委員会の職権上の委員となり、委員としての全特権を有する。各委員会の委員長は、委員会の定期会合と活動全般について責任をもち、委員会活動を監督・管理し、委員会の全活動について理事会に報告する。
9. **投票と定足数。**本クラブの業務は、電子投票によって行われるものとする。____ロータリークラブの会員は、訪問先の他クラブが提案した案件について投票する資格がない。
10. **改正。**本細則は、クラブ会員による電子投票で改正できる。会員は、投票の__日前までに改正案について通知を受けなければならない。本細則の改正にあたっては、全会員の半数以上が投票に参加し、かつ全票の3分の2が変更を支持する必要がある。本細則への変更または追加は、RI定款、RI細則と矛盾してはならない。